

第5章 社会教育・家庭教育

第1節 学校と家庭・地域との協働の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

1 「いわて教育の日」推進事業

(1) 趣旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組も併せて実施状況を取りまとめた。

- ・ いわて教育の日 11月1日
- ・ 教育週間 11月1日～7日

(2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

令和3年度「いわて教育の日」のつどい

テーマ 『学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり』

期日 令和3年11月1日(月)

会場 岩手県民会館 中ホール

参加者 県内教育関係者、県民、生徒等 約270人

内容 第1部 開会行事

- ・ 開会行事
- ・ 教育表彰(事績顕著者表彰)

第2部 講演

- ・ 講師

東京大学公共政策大学院・慶應義塾大学政策・メディア研究科教授

鈴木 寛(すずき かん)氏

- ・ 演題

Society5.0において目指すべき教育の方向性と学校像

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模の縮小、児童生徒の発表の中止、開催内容の縮小による短時間での開催等を行った。

(3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2ヶ月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業(行事)を、「いわて教育の日」関連事業として広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

2 教育振興運動

「岩手県『地域学校協働活動・教育振興運動』推進5か年プラン」(令和2年度～令和6年度)は、「地域学校協働活動」と「教育振興運動」を総合的かつ一体的に推進することにより、「学校を核とした地域づくり」や「地域とともにある学校づくり」の実現を図ろうとする令和2年度から5年間の推進計画であり、2年目となる令和3年度は、プランの周知・啓発、取組の実態把握、既存事業や体制の見直しなど、引き続き活動・運動の推進に向けた基礎づくりが各地域で進められた。

(1) 県段階における推進活動

ア 幹事会

- ① 期日 令和4年2月1日
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（後日資料送付）
- ② 会場 いわて若者カフェ（岩手県公会堂地下）
- ③ 内容 ・令和3年度教育振興運動推進事業の実施状況について
・令和3年度教育振興運動推進状況調査について
・令和4年度教育振興運動推進方針・推進事業について

イ 市町村担当者研修会

- ① 目的 地域学校協働活動と教育振興運動の取組を総合的かつ一体的に進めるための方策等について理解を深める。
- ② 期日 令和3年6月1日
- ③ 場所 生涯学習推進センター
- ④ 内容 ・行政説明「地域学校協働活動と教育振興運動」について
・講話「村総ぐるみの教育活動 ～コミュニティ・スクールと教育振興運動の一体的な推進～」

ウ 地域とともにある学校づくり推進フォーラム

- ① 目的 「地域とともにある学校づくり」の充実方策について、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）や地域学校協働活動の効果的な取組事例の発表等を通じて、各地区における円滑かつ効果的なコミュニティ・スクールの導入やその取組方策の理解を深める。

② 概要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月11日	姫神ホール	138人	実践発表、パネルディスカッション
中部地区	6月28日	生涯学習推進センター	110人	講演、全体協議
県南地区	7月7日	前沢ふれあいセンター	171人	シンポジウム、講演
沿岸南部地区	7月6日	三陸公民館	72人	事例発表、講演
県北地区	6月23日	二戸市民文化会館	118人	実践発表、講義

エ 「学校を核とした地域づくり」の推進に係る訪問支援

- ① 内容 地域学校協働活動の充実及び推進体制の整備等を目的とした教育事務所による訪問支援
- ② 方法 管内市町村の求めに応じて訪問

オ 公立小中学校及び県立学校の校内体制における「地域連携窓口教員（地域教育担当教員）」の位置づけ周知

- ① 教育基本法及び学校教育指導指針の趣旨を踏まえ、「学校、家庭及び地域住民の連携協力」を推進する「地域連携窓口教員」の位置づけを周知
- ② 「地域連携窓口教員」の設置状況調査の実施（令和3年8月調査）
※ 公立小学校・公立中学校・県立高校・県立特別支援学校 全て100%

(2) 市町村段階における推進活動

ア 推進組織の状況

(合計47市町村・地区)

教育振興運動単独組織で推進	37市町村・地区
教育振興運動とは別の組織で推進	10市町村・地区
推進組織はない	なし

イ 実践組織の状況

(ア) 実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	182(36.5%)
中学校区	95(19.1%)
公民館区	25(5.0%)
町内会区	115(23.1%)
その他	81(16.3%)
計	498

(イ) 実践組織が取り組む主題の数(延べ数)

区分	主題の数	区分	主題の数
学習活動	655	勤労体験	163
社会参加	559	国際理解	52
自然体験	161	スポーツ・レクリエーション	166
郷土芸能	190	情報メディア	384
文化・芸術	140	復興教育	120
生活・健康	505	その他	63
世代間交流	271	計	3,429

3 地域学校協働活動(学校支援地域本部)事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を国庫補助事業「学校・家庭・地域の連携協力推進事業補助金」を活用して実施した。

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 委員会の開催(令和3年5月21日、令和4年1月25日※紙面開催)

イ 地域学校協働活動推進員研修会(令和3年11月22日 39人)

ウ 地域学校協働活動推進員地区別研修講座【盛岡】(令和3年9月30日 14人)

【中部】(令和3年6月9日 19人)

【県南】(令和3年11月8日 8人)

【沿南】(令和3年10月12日 23人)

【宮古】(令和3年11月10日 7人)※オンライン

【県北】(令和3年10月5日 34人)

エ 学校と地域の連携・協働研修会(令和3年8月6日 129人)

オ 実地調査(一戸南小学校地域学校協働活動)

(2) 地域学校協働活動推進検討委員会

ア 委員会の開催(令和3年7月30日、12月21日)

イ 内容 ・地域学校協働活動養成研修講座のあり方についての検討

(3) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	本部数	市町村名	本部数	市町村名	本部数
盛岡市	—	西和賀町	2	山田町	1
八幡平市	9	奥州市	6	岩泉町	—
雫石町	—	金ヶ崎町	—	田野畑村※ ¹	(1)
葛巻町	1	一関市	4	久慈市	9
岩手町	—	平泉町	3	普代村	1
滝沢市	2	大船渡市	1	洋野町	8
紫波町	2	陸前高田市	1	野田村	1
矢巾町	—	住田町	—	二戸市	3
花巻市	3	釜石市	5	軽米町	1
遠野市	—	大槌町	1	九戸村	1
北上市	10	宮古市	6	一戸町	4
				計※ ²	85(1)本部

※¹ 村単費で実施

※² ()は県から市町村への間接補助以外の本部数

第2 豊かな体験活動の充実

放課後子供教室の推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に取り組んだ。

1 放課後子供教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子供教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。（国庫補助事業「学校・家庭・地域の連携協力推進事業補助金」を活用して実施）

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 委員会の開催（令和3年5月21日、令和4年1月25日※紙面開催）

イ 指導者合同研修会の開催（令和3年6月9日 80人、9月2日※オンライン開催 50人、令和4年2月19日※オンラインと会場参集を併用して開催 60人）

ウ 実地調査（みなわ子ども教室（二戸市立中央小学校放課後子供教室））

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数	市町村名	子供教室数
盛岡市	(5)国から補助	西和賀町	—	山田町	—
八幡平市	—	奥州市	13	岩泉町	—
雫石町	—	金ケ崎町	1	田野畑村	—
葛巻町	4	一関市	18	久慈市	8
岩手町	—	平泉町	3	普代村	1
滝沢市	2	大船渡市	—	洋野町	4
紫波町	—	陸前高田市	5	野田村	1
矢巾町	4	住田町	2	二戸市	6
花巻市	—	釜石市	5	軽米町	3
遠野市	—	大槌町	2	九戸村	4
北上市	2	宮古市	1	一戸町	5
				計※	94(5) 教室

※()は県から市町村への間接補助以外の教室数

2 少年団活動の支援

(1) 子ども会等少年団体の組織状況

団体名	団体数	会員人数	
ボーイスカウト	8	314	(令和3年5月1日現在)
ガールスカウト	9	155	(令和3年5月1日現在)
地域子ども会	12	47,435	(令和3年5月1日現在)

(2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者養成事業／プログラム事業
ガールスカウト岩手県連盟	指導者養成及び指導者研修／教育プログラム
岩手県子ども会育成連合会	ジュニアリーダー育成／各地域子ども会育成組織支援

3 青年団体活動の支援

(1) 組織状況 (令和3年5月1日現在) [単位：団体、人]

団体名	構成団体数	会員数
岩手県青年団体協議会	2	30

(2) 事業内容

ア 第69回岩手県青年大会

(ア) 体育部門

期日……令和3年7月24日～25日

場所……葛巻町ほか

(イ) 文化部門

期日……令和3年9月4日

場所……岩手県青少年会館

イ 第69回全国青年大会

期日……令和3年11月12日～15日 (体育部門中止。文化部門のみオンライン開催)

場所……東京都内

4 青年教室・講座 (令和2年度実績(「令和3年度社会教育基本調査」))

項目	開設数	参加者数	内容
30人以上で20時間以上	0教室(0市町村)	0人	1 人間関係に関すること
30人以上で10～20時間	0教室(0市町村)	0人	2 市民性、社会性に関すること
上記以外	40教室(3市町村)	1,769人	3 職業、家庭に関すること
合計	40教室(3市町村)	1,769人	4 郷土理解に関すること 等

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 県立青少年の家

ア 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

(生活方針) 「規律」「友情」「協同」「奉仕」

イ 利用者数

[単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	497	14,740	17,725
陸中海岸青少年の家	384	9,445	11,525
県北青少年の家	390	12,297	13,694
計	1,271	36,482	42,944

ウ 県北青少年の家スケート場利用者数

[単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	147	293	440
小学生・中学生	3,050	7,904	12,523
高校生・大学生・一般	1,569		
計	4,766	8,197	12,963

エ 類型別実利用者数

[単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	439	387	302
	教育研修	591	1,015	1,391
学校利用	大学・短大	0	0	87
	各種学校	116	83	0
	高等学校	674	622	356
	中学校	446	1,106	356
	小学校	5,008	2,542	5,162
地域団体 利用	サークル(勤労青年)	15	17	0
	サークル(一般)	332	760	45
	子ども会	687	496	1,870
	スポ少団体	4,144	506	2,355
	児童館・公民館	736	537	363
	幼稚園・保育園	284	753	285
企業体		115	38	42
その他		4,138	2,663	1,080
合 計		17,725	11,525	13,694

(2) 県立野外活動センター

ア 運営の基本方向

恵まれた自然環境の中で、各種の野外活動、スポーツや協働宿泊生活などを行い、県民の明るく、豊かな生きがいのある人生を創造する。

また、研修での体験を通じて、規律・協調・友愛・奉仕の精神を養い、主体的で豊かな青少年の健全育成を図る。

イ 利用者数

[単位：団体、人]

利用団体数	実利用者数	延利用者数
272	6,492	8,629

ウ 類型別実利用者数

[単位：人]

各種事業	施設主催事業	706
学校利用	大学・短大	239
	各種学校	62
	高等学校	1,448
	中学校	1,732
	小学校	1,644
地域団体 利用	サークル(勤労青年)	0
	サークル(一般)	129
	子ども会・親子	306
	スポ少・スポーツ団体	1,399
	児童館・公民館	36
	幼稚園・保育園	73
企業体		18
その他		837
合 計		8,629

第2節 子育て支援や家庭教育支援の充実

第1 子育てや家庭教育に関する学習機会の提供

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

1 学習機会の提供

親等が集まる多様な機会を活用して、子育てや家庭教育に関する学習機会を提供した。

(1) 親子共同体験推進事業

- ア 趣旨……親子の共同体験を通して、親子の相互理解を深めるとともに、参加家族間の交流を通して、子育ての仲間づくりを促進する。
- イ 期日……令和3年5月～令和4年3月
- ウ 内容……野外炊事、自然体験活動等

(2) 効果的な学習機会の提供（国庫委託・補助事業として実施）

- ア 趣旨……保護者を対象に、関係機関団体等との連携のもと、広域的な教育課題に即した学習内容及び先進事例やワークショップ等を通じた学習方法を提供する。
- イ 期日……令和3年4月～令和4年3月
- ウ 内容……紫波町、遠野市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町、大船渡市、山田町、久慈市、洋野町、普代村、二戸市、軽米町の12市町村において、家庭教育支援に関する講座等の学習機会を提供した。

2 学習情報の提供と相談体制の充実

子育てに不安や悩みを抱える親等に対する相談窓口の整備充実を図るとともに、家庭教育に関する親の学習活動を促進するため学習情報や学習資料を提供した。

(1) 家庭教育子育て電話・メール相談

ア 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

- (ア) 趣旨……家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話（面接）による相談を行い、家庭教育の充実を図る。

(イ) 開設場所…生涯学習推進センター

(ウ) 開設期間…通年

(エ) 開設日時…月～金曜日（毎日10:00～17:00）ただし、国民の祝日、年末・年始は除く。

(オ) 電話番号…0198-27-2134（夜間は留守電、FAX）

(カ) 相談件数…905件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	50	5.5	虐待・育児不安	26	2.9
しつけ全般	54	6.0	心理・性格	232	25.6
遊び・友だち	24	2.7	集団生活・社会性	24	2.7
家庭環境	127	14.0	学習・進路	21	2.3
知能・ことば	6	0.7	人間関係	61	6.7
いじめ・不登校	18	2.0	発達障がい	15	1.7
			その他	247	27.3
			計	905	

イ 子育てメール相談「すこやかメール相談」

- (ア) 趣旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 携帯サイトアドレス…kosodatem@pref.iwate.jp
- (オ) 相談件数…231件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合	相談領域	相談件数	割合
健康・安全	43	18.6	虐待・育児不安	24	10.4
しつけ全般	61	26.4	心理・性格	18	7.8
遊び・友だち	6	2.6	集団生活・社会性	11	4.8
家庭環境	28	12.1	学習・進路	7	3.0
知能・ことば	2	0.9	人間関係	12	5.2
いじめ・不登校	4	1.7	発達障がい	9	3.9
			その他	6	2.6
			計	231	

ウ 子育てメールマガジン「すこやかメールマガジン」

- (ア) 趣旨……子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、全ての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した情報提供を行う。
- (イ) 開設場所…生涯学習推進センター
- (ウ) 開設期間…通年
- (エ) 配信日時…毎週木曜配信
- (オ) 配信先数…3,635（令和4年3月末現在）

(2) 家庭教育手帳周知

乳幼児から小・中学校の子どもをめぐり家庭教育の課題や家庭教育に関する学習機会、相談窓口等に関する情報を提供した。（電子データによる提供周知）

第2 家庭教育を支える環境づくりの推進

地域において子育てに悩む親等の相談を受けたり、子育てグループを支援したりする子育てサポーターや地域人材の資質向上を図るとともに活用促進のための仕組みづくりを行った。

1 家庭教育支援体制整備

- (1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会（国庫委託事業「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」として実施）

- ア 国庫委託事業の基本的方針等について 令和3年5月21日（金）
- イ 国庫委託事業の成果・課題等について 令和4年1月25日（火）※書面開催

(2) 「家庭教育・子育て支援担当者研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和3年6月4日（金）
- ウ 内容……講義・演習・ワークショップ
- エ 対象……行政担当者（16人）

(3) 「子育て・家庭教育相談担当者研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……①令和3年12月6日(月)、②令和4年2月14日(月)
- ウ 内容……講義、演習
- エ 対象……相談機関担当者、家庭教育支援担当者、子育て支援担当者、子育て支援関係者、幼稚園・保育園・認定こども園関係者、学校関係者(①26人、②71人)

(4) 「地域安全防災研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和3年12月7日(火)
- ウ 内容……説明、講義、質疑・応答
- エ 対象……行政担当者(44人)

2 子育てサポーターのスキルアップと支援関係者のネットワーク強化

(1) 「子育て支援活動交流研修会」

- ア 主管……生涯学習推進センター
- イ 期日……令和3年12月14日(火)
- ウ 内容……講話、実践発表、情報交流等
- エ 対象……子育てサポーター、支援実践者等(34人)

(2) 「地区家庭教育・子育て支援ネットワーク研修会」

- ア 主管……各教育事務所
- イ 期日……令和3年9月～10月
 - ① 9月24日 中部教育事務所(13人)
 - ② 10月6日 盛岡教育事務所(47人)
 - ③ 10月19日 県北教育事務所(36人)
 - ④ 10月21日 県南教育事務所(46人)
 - ⑤ 10月22日 沿岸南部教育事務所(36人)
- ウ 内容……講演、演習、情報交流等
- エ 対象……行政関係者、子育てサポーター養成講座修了者、子育て支援関係者等

第3節 生涯にわたり学び続ける環境づくり

第1 多様な学習機会の充実

健康志向の高まりや医療体制の充実等により、人生100年時代を迎える中、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたって学習を継続できる環境づくりが求められていることから、学びの機会等に関する情報の集積・提供や学習ニーズに個別に応じた学習相談、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりに取り組んだ。

1 生涯学習推進体制の充実

(1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

ア 期日

第1回 令和3年7月19日 第2回 令和4年1月21日

イ 出席

第1回 委員16人中10人出席 第2回 委員16人中12人出席

ウ 内容

- (ア) 令和3年度主要施策について（生涯学習文化財課、学校教育室、保健体育課、県立生涯学習推進センター、県立図書館、県立博物館、県立美術館、公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団、県立野外活動センター）
- (イ) 令和2・令和3年度協議テーマ「新しい時代の岩手の生涯学習・社会教育～岩手らしさを生かした生涯学習・社会教育施策の方向性について～」
- (ウ) 令和4年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

(2) 生涯学習推進体制調査

市町村における生涯学習推進体制等に関する状況を調査し、調査結果を県ホームページ及び県立生涯学習推進センターホームページにおいて公開した。

ア 実施時期 令和3年10月

イ 調査内容 生涯学習の推進組織、推進事業、情報提供事業、民間・NPOとの連携事業 等

2 生涯学習の普及奨励

(1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の集積・提供や広報活動に取り組んだ。

ア 生涯学習情報提供事業

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

ホームページのリニューアルを進めるとともに、コンテンツの充実に努め、システムの利用促進を図る取組を実施した。

イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

(ア) 発行部数……………700部

(イ) 年間発行回数………4回

(2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業等を実施するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において情報提供に取り組んだ。

また、学習ニーズに個別に応じた学習相談や情報提供を行い、生涯学習・社会教育活動の支援を行った。

ア 生涯学習ボランティア活動推進事業

生涯学習推進センターボランティア登録数 885人

イ 電話相談「マナビィコール」の開設

(ア) 開催日……………毎週月～金曜日

(イ) 時間……………9時～17時

(ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員

(エ) 相談件数……………83件

第2 岩手ならではの学習機会の提供

郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等において豊かな自然、文化、歴史などの資源をテーマとした公開講座を開催するなど、岩手ならではの学習機会の提供に取り組んだ。

1 成人の学習活動の支援

(1) 成人教育

市町村及び社会教育関係団体を主体として公開講座等が行われた。

ア 学級講座（成人大学講座等）（令和3年度社会教育基本調査）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	9	145	3,429
成人学級・講座	22	1,041	55,389
その他	14	219	6,723

(2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に取り組んだ。

ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が行われた。

【学級・講座開設状況】（令和3年度社会教育基本調査）

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	18	253	4,565
その他	6	19	449

イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を行った。

【組織状況（令和3年5月1日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	30	4,816

2 高齢者の学習活動の支援

(1) 高齢者学級・講座

高齢者の多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが行われた。

区分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	24	706	24,102
その他	5	53	1,052

※令和3年度社会教育基本調査より

3 視聴覚教育

(1) 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

ア 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会専任職員等研修会(中止)

※各ライブラリーから得た情報交換事項をまとめた記録集を事務局で作成・発行

イ 16ミリ映写機操作技術講習会 [単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数	教育事務所	回数	修了者数
盛岡	2	38	沿岸南部	0	0
中部	1	7	宮古	0	1
県南	2	10	県北	0	0
			計	5	56

ウ 教材フィルム利用状況 [単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数	視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	320	4,893	大槌町	0	0
花巻市	162	3,703	久慈市	49	268
北上市	8	90	宮古市	73	822
西和賀町	0	0	山田町	0	0
県南第一	249	7,288	岩泉町	0	0
大船渡市	0	0	二戸	64	1,121
釜石市	34	411	県立図書館	7	253
遠野市	45	457	計	1,011	19,306

4 県立図書館の整備充実

(1) 運営の方針

ア 図書館機能の充実

(ア) 県と指定管理者が役割と責任を明確にした上で、連携協力を行い図書館としての一体性を保持しながら、利用しやすい施設を目指した。

また、図書館のサービス提供部門の運営を担う指定管理者は、図書館の運営方針等に基づき適切に業務を管理・運営するとともに、県は指定管理者の管理運営が適切に行われているかを評価し、図書館機能が充実するよう取り組んだ。

(イ) 図書館の運営上の課題を協議するため、図書館協議会を2回開催した。

(ウ) アンケート等により利用者の意見を聞くよう取り組んだ。

(エ) 多様な利用者や住民に配慮したサービスの提供に取り組んだ。

(オ) 図書館機能の充実のため、図書館職員の資質の向上に取り組んだ。

イ 広報活動の充実

利用者の便宜を図り利用促進につなげるため、印刷物の発行やホームページ等を活用し広報等情報の発信に取り組んだ。

ウ 図書館資料の収集、整理、保存及び活用

(ア) 県民の需要を広域的かつ総合的に把握し、図書館資料としてふさわしい資料や情報を収集、整理し、保存するとともに活用を図り、県民の利用に供した。

(イ) 県民の利用を促すために、所蔵資料に係る目録等の整備を進めた。

(ウ) 郷土資料の収集、整理等を重点的に実施し、ホームページにより情報提供を図るとともに、資料の保存に当たってのデジタル化を進めた。

また、郷土資料講座等を実施し、資料の紹介と活用に取り組んだ。

(エ) 引き続き東日本震災津波関係の記録を収集するとともに、本県の過去の災害関連資料と併せて利活用できるよう資料整理を進めた。また、震災関連資料コーナーやホームペ

ージ等での情報提供を行った。

- (オ) 古文書等の貴重資料について適切な整理を行うとともに、「デジタルライブラリーいわて」により公開し、岩手の文化の情報発信に努めた。

エ 相談機能の維持充実

- (ア) 県民の調査研究活動を支援するとともに、生活上の課題や地域課題の解決に役立ててもらえるよう、図書館資料を活用して支援するレファレンスサービスを提供した。
- (イ) レファレンス事例や郷土資料等に関する各種データベースを充実させ、情報を提供した。

オ 今日の課題への対応

少子化、超高齢社会、人口減少、産業振興等、本県における今日の課題の解決に資するよう取り組んだ。

カ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 図書館資料を活用した企画展示等により、学習への興味関心を高めた。
- (イ) 関係団体との連携により、読書週間を設け各種関連事業を実施したほか、県内の読書サークル等への図書館資料の貸出しや読み聞かせ会の実施等により、県民の読書活動が進むよう取り組んだ。
- (ウ) 読書活動、調べ学習及び就労体験実習等、学校教育の支援を行った。

キ 市町村支援及び連携

- (ア) 市町村立図書館等のニーズを踏まえつつ、図書館運営に関する助言等を行うとともに、協力貸出や協力レファレンス等の支援を行った。
- (イ) 図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同で調査研究を実施した。
- (ウ) 県内図書館間の相互協力を推進した。
- (エ) 市町村立図書館等職員のための各種研修講座を実施するなど、職員の知識・技能等の習得を支援した。

ク 関係団体等との連携

- (ア) 岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会を通じて読書活動の奨励等が全県的な活動となるよう、県内図書館や関係団体等との連携を進めた。
- (イ) 図書館以外の社会教育施設等との連携を強め、情報提供等の充実に取り組んだ。
- (ウ) いわて県民情報交流センター内施設等と連携しながら、利用者の満足度向上に取り組んだ。

ケ 利用者の安全安心の確保

災害や事故等の発生時における対応マニュアルを作成の上、日頃の訓練等を通じて迅速・適切に行動できるように備えた。

(2) 事業等の実施状況

ア 県立図書館協議会開催状況

第1回【期日】令和3年6月16日

【協議事項】

- ・ 県立図書館業務実施状況及び利用状況等について
- ・ 県立図書館運営概要について
- ・ 岩手県立図書館、岩手県公立図書館の振興を求める意見書について

第2回【期日】令和4年3月9日

【諮問】

- ・ 「岩手県公立図書館等振興指針」の改訂について

【協議事項】

- ・ 県立図書館経営計画について
- ・ 岩手県図書館協議会委員連絡協議会の持ち方について

イ 広報活動

各種広報誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に取り組んだ。

ウ 図書館資料の収集

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集を各方面に呼び掛け、積極的に取り組んだ。なお、資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料

[単位：冊]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総冊数
一般用	4,114	4,205	441	691,195
団体用	930	13	180	132,331
計	5,044	4,218	621	823,526

(イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	1	1,539
ビデオテープ	0	0	34	2,744
DVD	23	28	3	3,032
CD	15	9	0	4,631
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97
計	38	37	38	14,983

(ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル]

区 分	年度末総タイトル数
新 聞	361
雑 誌	5,813
計	6,174

(エ) マイクロフィルム

[単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	除 籍	年度末総点数
マイクロフィルム	18	0	0	10,451

(オ) 電子資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
CD-ROM等	791
オンラインデータベース	8
計	799

(カ) 震災関連資料

[単位：点]

区 分	年度末総点数
図書資料等	31,883
視聴覚資料	204
計	32,087

(キ) デジタル化資料

[単位：点]

資料名	3年度デジタル化点数
[箱館丸全図] 他	10

エ 利用者サービス

(ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数……………259,358人

新規貸出登録者数…3,459人

(イ) 個人への館外貸出数

[単位：冊又は点]

区 分	冊数又は点数
図書資料	185,637
視聴覚資料	5,515
うちビデオテープ	43
DVD	2,902
CD	2,570

(ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、企画展関連特別映画会7回、バリアフリー映画会1回の計8回開催した。
また、児童向け読み聞かせ会を14回開催した。

(エ) 参考調査（レファレンスサービス）

調べものや読書相談等に延べ17,316件の利用があった。

(オ) 課題解決支援サービス

[単位：人]

講演タイトル	開催日	参加者数
新型コロナウイルス感染拡大防止のためなし		

(カ) 二次資料の作成

利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。

- ・ 国立国会図書館レファレンス協同データベース
- ・ レファレンス事例データベース
- ・ 岩手日報記事索引
- ・ 郷土関係雑誌目次集
- ・ 県人台帳

オ 展示事業

(ア) 4階展示コーナー企画展示

[単位：点]

実施内容	開催期間	展示点数
いわての神楽	令和3年5月15日～7月18日	243
近代いわての歌人・俳人	令和3年7月31日～10月17日	169
第35回 賢治資料展	令和3年10月31日～1月16日	340
第42回手づくり絵本展（ミニ企画展：岩手の読書週間の歴史）	令和4年2月1日～2月9日	121
岩手県立図書館創立100周年展	令和4年2月19日～5月5日	74

(イ) 各カウンターミニ展示

[単位：回]

場所	開催回数
総合、児童、新聞・雑誌、音と映像、企画、郷土、パスファインダー	83

カ 読書推進運動事業

家庭・地域・学校における読書活動の推進に資することを目的として、「岩手県読書をすすめるつどい」を開催する。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ 市町村への支援協力

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

- ・ レファレンス協同データベースを図書館サービスに活かすために
- ・ 児童サービスとしての読み聞かせ
- ・ 公共図書館と学校との連携～ビブリオバトル～

(イ) 市町村立図書館等への訪問 25回

(ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人

テーマ：「図書館と学校との連携事例」

(エ) 協力貸出

図書資料：807件、1,368冊

視聴覚資料：6件、14点

(オ) 団体貸出

図書資料：23団体、27,810冊

視聴覚資料：3団体、7点

第3 学びと活動の循環による地域の活性化

県民一人ひとりが学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の循環を促したり地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めたりするため、県立生涯学習推進センターを活用した研修・交流の場の提供や各種社会教育関係団体の活動の支援等に取り組んだ。

1 県立生涯学習推進センターの運営

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報提供・学習相談

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実を図る。

- (ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実
- (イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実
- (ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

ウ 指導者の養成・研修

生涯学習・社会教育関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした研修（職員研修）
- (イ) 主に有志指導者（ボランティア）を対象とした研修（有志指導者研修）
- (ウ) 市町村等のニーズに応じた研修（要請研修）

(3) 事業等の実施状況

ア 学習情報の提供

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用

インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

なお、年度途中の県のネットワークシステムの変更により、利用件数を計測できない期間があったため、年間の実績値は測定できなかった。

(イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】700部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、小中高等学校、関係機関及び施設等

(ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】令和3年度 83件

(エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談

電話番号：0198-27-2134（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、
休日はFAX、留守番電話対応）

【相談件数】令和3年度 905件

(オ) 子育て相談「すこやかメール相談・メールマガジン」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】令和3年度 231件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2021 研究報告 Vol.24 いわての生涯学習」の発行

【部数】1,500部

【内容】地域づくりにおける社会教育の意義に関する研究

(イ) 令和3年度岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】令和4年2月3日、4日

【会場】オンライン開催

【参加者数】164人（実人数）

【内容】(1) 事例発表・協議「障がいのある人の生涯学習の場づくりにむけて」

(2) 講演「障がい者の生涯学習を考える」

(3) 研究発表・協議

① 「社会教育におけるICT活用のあり方に関する研究」

② 「障がい者の生涯学習推進のあり方に関する研究」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	54 (17)	2,211 (476)
施設利用	68 (△2)	3,668 (△592)
随時研修	1 (△1)	7 (△34)
講師派遣	9 (△4)	688 (278)
視察	1 (1)	2 (2)
その他	2 (2)	100 (100)
計	135 (13)	6,676 (230)

【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数
職員研修	新任生涯学習関係職員研修講座	令和3年5月13日	80
	家庭教育・子育て支援担当者研修会	令和3年6月4日	16
	社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座	令和3年5月25日	27
	広報スキルアップ研修講座	令和3年6月23日、10月13日	88
	人づくり・地域づくり関係職員等研修会（県内5会場）	令和3年7月2日、27日 10月8日、11月12日、30日	80
	コミュニケーションスキルアップ研修講座	令和3年8月4日	53
	学校と地域の連携・協働研修会	令和3年8月6日	129
	事業プログラム企画運営研修講座	令和3年10月20日	44
	センター・公民館・主管課職員等セミナー	令和3年9月14日	64
	子育て・家庭教育相談担当者研修会	令和3年12月6日 令和4年2月14日	97
	地域安全防災研修会	令和3年12月7日	44

区分	研修・講座名	期 日	受講者数
有志 指導 者研 修	放課後子ども総合プラン指導者合同研修会	令和3年6月9日、9月2日	130
	読書ボランティア研修会	令和3年6月15日	99
	子育て支援活動交流研修会	令和3年12月14日	34
	地域学校協働活動推進員（コーディネーター）研修会	令和3年11月22日	39
	放課後児童支援員認定資格研修（4班編成、前後期各2日）	令和3年6月29日～11月10日	197
要請 研修	随時研修（1回）	通年	7
	出前研修（講師派遣）（8回）	通年	688
その 他	社会教育主事講習（B）	令和4年1月24日～2月21日	16
	岩手県生涯学習推進研究発表会（2日間）	令和4年2月3日、4日	164
合計			2,096

2 社会教育関係団体の活動支援

地域の活性化に向けた仕組みづくりを進めるため、社会教育関係団体の活動について、研修会における助言や経費の一部を補助するなどの支援を行った。

団 体 名	単位団体数	会員数	補助対象事業
岩手県子ども会育成連合会	12	47,435	・市町村子ども会活動活性化事業 ・会報発行
日本ボーイスカウト岩手連盟	8	314	・スカウト交流フェスタ
ガールスカウト岩手県連盟	9	155	・教育プログラム ・成人のトレーニング
岩手県青年団体協議会	2	30	※全国青年大会派遣事業が新型コロナウィルス感染症のため中止
特定非営利活動法人 岩手県地域婦人団体協議会	30	4,816	・広報活動
岩手県ユネスコ協会連盟	23	1,570	・ユネスコ活動顕彰事業 ・ユネスコ運動広報事業
岩手県国公立幼稚園・こども 園PTA連絡協議会	31	972	・総会 ・ブロック研修会 ・会報発行
一般社団法人 岩手県PTA連合会	33	78,589	・会報発行
岩手県高等学校PTA連合会	80	23,976	・会報発行
岩手県社会教育連絡協議会	0 (※市町村団体無)	1,524	・会報発行 ・岩手県公民館大会・岩手県社会 教育委員研究大会

(組織状況：令和3年5月1日現在)

第4 社会教育の中核を担う人材の育成

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村教育委員会事務局に社会教育主事が7人、社会教育指導員が24人配置されている。

近年、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題への対応のため、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、関係職員への教育は重要となっている。

令和3年度は、以下の研修等を行った。

1 新任生涯学習関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】 令和3年5月13日 | 生涯学習推進センター | 80人

【内容】 生涯学習・社会教育の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修

2 社会教育指導員・地域づくり関係職員等研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】 令和3年5月25日 | 生涯学習推進センター | 27人

【内容】 社会教育指導員・地域づくり関係職員等としての必要な専門的知識・技能に関する研修

3 事業プログラム企画運営研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】 令和3年10月20日 | オンライン研修 | 44人

【内容】 公民館や地区センター等で実施する事業プログラムの企画運営に関する研修

4 コミュニケーションスキルアップ研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】 令和3年8月4日 | 生涯学習推進センター | 53人

【内容】 生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの向上を図る研修

5 センター・公民館・主管課職員等セミナー

【期日 | 会場 | 参加者数】 令和3年9月14日 | 生涯学習推進センター | 64人

【内容】 人づくり・つながりづくり・地域づくりのために、地区センターや公民館等の社会教育施設が果たす役割について学ぶ研修

6 広報スキルアップ研修講座

期 日	サブタイトル名	参加者数
令和3年6月23日	超初心者のためのWordのテクニック向上講座	23人
令和3年10月13日	現場で使える効果的なSNSの活用法を教えます	65人

【内容】 魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修

7 人づくり・地域づくり関係職員等研修講座

期 日	研修会サブテーマ	参加者数
令和3年7月2日	「誰もが」共に学び、生きるための「障がい」理解	9人
令和3年7月27日		32人
令和3年10月8日		14人
令和3年11月12日		16人
令和3年11月30日		8人

【内容】 地域づくりを担う地区センター・公民館職員等のスキルアップを図る研修

8 岩手県公民館大会・岩手県社会教育委員研究大会

【内容】 生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修、公民館の在り方等に関する研修

※新型コロナウイルス感染症のため書面開催（大会記念誌の発刊）

9 図書館等職員研修

(1) 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場】 令和3年4月22日 | 県立図書館
【内容】 講話、施設見学
【参加者数】 23人

(2) 図書館等初任職員研修会

【期日 | 会場】 令和3年9月28日 | オンラインによる研修
【内容】 講義
【参加者数】 51人

(3) 図書館等中堅職員研修会

【期日 | 会場】 令和3年7月16日 | 県立図書館
【内容】 講義、情報交換
【参加者数】 27人

(4) 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場】 令和3年11月25日～12月9日 (YouTubeによる動画配信)
【内容】 講義、事例発表、全体会
【申込者数】 1,244名
※全国公共図書館研究集会 (児童・青少年部門) との合同開催

(5) 市町村図書館等職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
令和3年9月16日	オンラインによる研修	36人
令和3年11月16日	生涯学習推進センター	7人
令和3年11月17日	盛岡市立都南図書館	10人

10 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

(1) 全国生涯学習センター等研究交流会

全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 令和3年5月27日 | オンラインによる研修
【内容】 講義、事例研究、グループ協議等
【参加者数】 1人

(2) 公民館職員専門講座

公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術についての研修を行い、地域の指導的立場にある公民館職員としての力量を高める。

【期日 | 会場】 令和3年6月3日～8日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合とオンラインによる研修
【内容】 講義、シンポジウム、事例研究等
【参加者数】 0人

(3) 博物館長研修

新任の博物館長等に対し、博物館の管理・運営、サービスに関する専門知識や、博物館を取り巻く社会の動向などについて研修を行い、博物館運営の責任者としての力量を高める。

【期日 | 会場】 令和3年10月6日～8日 | オンラインによる研修
【内容】 基調講演、講義、シンポジウム等
【参加者数】 1人

(4) **社会教育主事講習**

社会教育法第9条の5の規定及び社会教育主事講習等規程に基づき、文部科学省より委嘱を受け、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とした講習。

ア 弘前大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】 令和3年7月13日～8月6日 | 弘前大学での集合研修と生涯学習推進センターでのオンラインによる研修

【内容】 講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 12人

イ 社会教育主事講習【A】

【期日 | 会場】 令和3年7月26日～8月23日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】 講義、演習等

【参加者数】 0人

ウ 社会教育主事講習【B】

【期日 | 会場】 令和4年1月24日～2月21日 | 生涯学習推進センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】 講義（WEB配信）、演習等

【参加者数】 16人（本県12人）

(5) **美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修**

全国の小・中・高等学校等の教員と美術館の学芸員などが一堂に会し、グループ討議等を行うことにより、美術館を活用した鑑賞教育の充実及び学校と美術館の一層の連携を図る。

【期日 | 会場】 令和3年11月29日・12月5日 | オンラインによる研修

【内容】 講義、事例紹介、グループワーク等

【参加者数】 1人

(6) **新任図書館長研修**

図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。

【期日 | 会場】 令和3年8月31日～9月3日 | オンラインによる研修

【内容】 講義等

【参加者数】 4人

(7) **図書館司書専門講座**

司書として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場になりうる司書及び図書館経営の中核を担うリーダーとしての力量を高める。

【期日 | 会場】 令和3年6月17日～30日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでの集合研修とオンラインによる研修

【内容】 講義、事例研究、演習等

【参加者数】 0人

(8) **社会教育主事専門講座**

社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。

【期日】 令和3年11月9日～12日 | オンラインによる研修

【内容】 講義、実践交流、シンポジウム等

【参加者数】 1人

(9) 博物館学芸員専門講座

学芸員として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、指導的立場になりうる学芸員としての力量を高める。

【期日 | 会場】 令和3年12月2日～6日 | オンラインによる研修

【内容】 講演、事例研究、シンポジウム等

【参加者数】 2人

(10) 地域教育力を高めるボランティアセミナー

地域と学校の連携・協働の推進に係る調査研究の成果等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 令和3年12月13日～14日 | オンラインによる研修

【内容】 調査報告、事例発表、事例研究、グループ協議等

※受講希望者は直接申込のため、参加人数は不明

第5 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

文化活動の拠点施設として、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化財センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。

また、青少年教育施設については、県立青少年の家の管理運営の充実と施設整備の機能の向上を図ったほか、東日本大震災津波により全壊し、移転復旧した県立野外活動センターが開所し、新たに運営事業を行った。

1 県立博物館

(1) 令和3年度博物館協議会開催状況

ア 令和4年1月26日

イ 会場 岩手県立博物館講堂

ウ 協議事項

- ・ 平成2年度博物館協議会の意見等への対応状況について
- ・ 令和3年度博物館事業実施状況について
- ・ 令和4年度博物館事業計画(案)について
- ・ 運営全般について

(2) 令和3年度利用状況

総利用者数：37,210人 ─┬─ 入館者数…………… 28,292人

└─ 教育普及事業参加者数…… 8,918人 (解説会・普及事業)

【令和3年度入館者数】

[単位：人、日]

月	個人利用				団体利用				免除利用			
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計
4	1,031	42	519	1,592	20	0	0	20	421	0	46	467
5	1,233	54	695	1,982	57	0	3	60	289	13	93	395
6	765	45	380	1,190	0	0	0	0	434	106	857	1,397
7	1,420	59	911	2,390	24	39	0	63	426	101	214	741
8	1,511	76	1,217	2,804	0	0	0	0	235	23	98	356
9	393	45	258	696	0	0	0	0	104	0	153	257
10	879	74	594	1,547	25	0	0	25	335	16	927	1,278
11	1,066	39	635	1,740	28	3	13	44	694	85	815	1,594
12	977	66	553	1,596	22	0	0	22	331	2	104	437
1	967	50	571	1,588	0	0	0	0	400	23	71	494
2	740	50	461	1,251	0	0	0	0	238	0	88	326
3	993	79	614	1,686	0	0	0	0	234	1	19	254
計	11,975	679	7,408	20,062	176	42	16	234	4,141	370	3,485	7,996

月	区分	総利用人員				開館日数	1日平均利用人数
		一般	高大学生	小中学生	計		
4		1,472	42	565	2,079	26	80.0
5		1,579	67	791	2,437	26	93.7
6		1,199	151	1,237	2,587	26	99.5
7		1,870	199	1,125	3,194	27	118.3
8		1,746	99	1,315	3,160	15	210.7
9		497	45	411	953	11	86.6
10		1,239	90	1,521	2,850	27	105.6
11		1,788	127	1,463	3,378	25	135.1
12		1,330	68	657	2,055	24	91.3
1		1,367	73	642	2,082	24	86.8
2		978	50	549	1,577	24	65.7
3		1,227	80	633	1,940	27	71.9
計		16,292	1,091	10,909	28,292	282	100.3

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

令和3年度は、13,913点の資料についての受け入れ、登録事務を行った。

[単位:点]

【収集資料数】	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
令和2年度末累計	10,230	200,173	59,839	41,111	22,032	333,385
令和3年度登録点数	512	6,984	27	6,152	238	13,913
計	10,742	207,157	59,866	47,263	22,270	347,298

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- ・ 地 質 岩手県産アンモナイト化石群ほか 46点
- ・ 生 物 岩手県産糞虫標本ほか 11点
- ・ 考 古 北上市和賀町愛宕山遺跡出土資料ほか 16点
- ・ 民 俗 民謡緊急調査音源（カセットテープ）ほか 32点
- ・ 歴 史 奥羽寒図記（山口月村）ほか 81点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

令和3年度は37テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分野	調査研究テーマ
地質	「北上山地における地質学的資料に関する基礎的研究」 ほか計4テーマ
生物	「岩手県内の湿性草原環境の生物相の把握」 ほか計11テーマ
自然史	「自然史標本の管理・公開、成果の発信に関する研究」 1テーマ
考古	「岩手県における埋蔵文化財保護、研究のあゆみ」 ほか計5テーマ
歴史	「古代・中世の東北史の研究」 ほか計7テーマ
民俗	「岩手の民具一般に関する基礎研究」 ほか計5テーマ
文化財科学	「津波被災資料の安定化処理法及び抜本修復法に関する研究」 ほか計4テーマ

ウ 展示活動

(ア) 常設展示の充実

「総合展示室」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

(イ) 特別展示等の開催

種別	名称	会期
テーマ展	「縄文いわての環状列石」	令和3年3月23日 ～令和3年5月9日
特別展	開館40周年記念特別展 「みる！しる！わかる！三陸再発見」	令和3年6月12日 ～令和3年8月15日 ※8月16日～22 臨時休館
移動展	「みる！しる！わかる！三陸再発見in宮古」	令和3年9月25日 ～令和3年10月24日
テーマ展	「教科書と違う岩手の歴史 －岩手の弥生～古墳時代－」	令和3年11月23日 ～令和4年2月6日
テーマ展	「金田一家収蔵資料展 －金田一勝定を中心に－」	令和4年3月5日 ～令和4年5月8日
その他	岩手県民共済Presents「いわて大恐竜展 －ティラノサウルスの進化の謎－ 於、岩手県民会館（当館協力）」	令和4年3月18日 ～令和4年5月8日

(ウ) 解説会 計 131回催し、593人の参加があった。

【展示解説会（定時：13回開催、114人参加）】

期日	担当	テーマ
4月 17日	考古	テーマ展「縄文いわての環状列石」
5月 2日		
6月 20日	生物ほか	特別展「みる！しる！わかる！三陸再発見」 ※8月21日は臨時休館のため中止
7月 4日		
7月 18日		
8月 1日	歴史ほか	移動展「みる！しる！わかる！三陸再発見in宮古」
9月 25日		
10月 24日	考古	テーマ展「教科書と違う岩手の歴史」
11月 23日		
12月 25日		
1月 16日	歴史	テーマ展「金田一家収蔵資料展」
3月 5日		
3月 19日		

【常設展示・展示解説会（118回開催、延べ479人参加）】

区分	回数	参加者数	場所	担当	内容
定時解説	中止 (新型コロナ対策)	0人	総合展示室 ほか	学芸第三課 (解説員)	総合展示室の展示 資料についての展 示解説会
通覧解説 (依頼解説)	118回 (随時)	延べ479人			

(エ) 展示関連特別事業

展覧会名	事業名	参加者数
テーマ展「縄文いわ ての環状列石」	4月18日実施 環状列石模擬体験（ストーンサークル・ゲーム）	23人
特別展「みる！し る！わかる！三陸再 発見」	7月24日、7月31日実施 高校生による郷土芸能特別公演 （岩手県立釜石商工高等学校、岩手県立宮古水産 高等学校、岩手県立岩泉高等学校、岩手県立大船 渡東高等学校）	延べ144人
テーマ展「教科書と 違う岩手の歴史」	11月27日実施 文化講演会「卑弥呼の時代ーその頃の岩手ー」	52名
	10月16日実施 考古学セミナー 講演会 「遺跡から見た盛岡の弥生～古墳時代」	18名
	10月23日実施 考古学セミナー 現地見学会 「中津川流域の弥生～古墳時代遺跡を歩く」	13名

エ 教育普及活動

【講演会、観察会等の開催事業一覧】 ※…新型コロナウイルス感染症対策等のため中止

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	チャレンジ！はくぶつかん	49回	2,202人
2	ゴールデンウィークスペシャル	中止※	0人
3	「ワードパズル」	3期	957人
4	ナイトミュージアム ～くらやみの中から語りかける資料を探る～	2回	38人
5	展示資料解説「けんぱくものしりシート」	12回	展示資料カードの配布
6	ヒストリックカー&クラシックカーミーティング	中止※	0人
7	文化講演会	1回	52人
8	北上川水源地域セミナー	1回	62人
9	岩手県立博物館友の会話のサロン	2回	50人
10	県博日曜講座	21回	981人
11	県博バックヤードツアー	1日	11人
12	博物館で学ぶ岩手の歴史講座	6回	37人
13	ミュージアムコンサート	1回	61人
14	考古学セミナー（講演会・現地見学会）	2回	31人
15	自然観察会	2回	35人
16	地質観察会	2回	60人
17	博物館園実習	7日間	5人
18	文化財等取扱講習会	2日間	19人
19	教員のための博物館の日	2日間	9人
20	第12回岩手県立博物館まつり代替事業	4日間	163人
21	たいけん教室～みんなでためそう～	44回	428人

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
22	冬のワクワク！ワークショップ	1回	56人
23	民家de写真展	1期	509人
24	ミュージアムシアター	10回	106人
25	県博出前講座	15回	755人
26	夏休みスタディシート	1期	625人
27	第1回写真コンテスト	1期	121人
28	講演会・講座に係る職員派遣	16回	434人
29	開館記念日イベント	9日間	3人
30	文化の日イベント	1日	210人
31	ワクワク！こどもツアー	15回	55人
	計		8,075人

1 チャレンジ！はくぶつかん

【期日】第2・3土曜日・日曜日・祝日 ※8月21～22日は臨時休館により中止

【内容】学芸員が作成するワークシートの配布

2 ゴールデンウィークスペシャル※中止

【期日】5月2日、3日

【内容】乗用ミニSLや動物ふれあいコーナーを設置

3 「ワードパズル」

【期日】①7月20日～8月13日 ②12月21日～1月7日

③3月23日～3月31日

【テーマ】当館学芸員作成のワードパズルの配布

4 ナイトミュージアム～くらやみの中から語りかける資料を探る～

【期日】8月6日、7日

【テーマ】

①子ども向けの展示解説会

②展示照明のない展示室にある考古等資料の解説及び暗やみの中で特徴ある資料等の観察

5 展示資料解説「けんぱくものしりシート」

【期日】毎月1回

【テーマ】当館解説員が展示資料解説カードを作成し配布。

6 ヒストリックカー&クラシックカーミーティング※中止

【内容】自動車文化に対する県民の理解を促進するための車両展示

7 文化講演会

【期日】11月27日

【演題】「卑弥呼の時代ーその頃の岩手ー」

8 北上川水源地域セミナー

【期日】1月23日

【演題】教科書に載っていない！

古墳～飛鳥時代における東北北部の産物～琥珀・皮革・海産物から探る交流史～

9 岩手県立博物館友の会 話のサロン

【期日】①5月22日 ②2月19日

【演題】①貞享3年岩手山噴火の復元ー古文書に記録された噴火ー

②ピアクの戦いと遺骨収集の現状

10 県博日曜講座

期 日	テーマ
4月11日	西平内 I 遺跡の調査で分かったこと
4月25日	北東北のストーンサークル
5月9日	生命史をひもとくージュラ期ー
5月23日	被災資料再生の10年
6月13日	三陸のウミガメは寒冷地仕様？ー北限のウミガメ研究でわかったことー
6月27日	三陸沿岸にサンゴ礁があった！豊かな生物に彩られた1億年前の海
7月11日	三陸の400年～宮古港を中心に～
7月25日	津波浸水域の水辺の希少生物
8月8日	三陸の鮭のふしぎー鮭の生態と民俗ー
8月22日	縄文の逸品「巻貝土器」からみえてくる三陸の豊かさ（中止）
9月12日	石碑に刻まれた三陸津波の記憶（中止）
9月26日	前川善兵衛家の出自について
10月24日	先祖をまつる～岩手の祖先供養～
11月14日	岩手のワスレナグモは変わり者？
11月28日	鳥類学者がアートを語る - 花鳥画家渡辺省亭の超絶技巧 -
12月12日	教科書と違う岩手の弥生時代
12月26日	北と南からみた岩手の古墳時代
1月9日	角塚古墳はなぜ作られたのか？
1月23日	教科書に載っていない！古墳～飛鳥時代における東北北部の産物～琥珀・皮革・海産物から探る交流史～
2月13日	南部藩領内の温泉 - 湯治の文化誌 -
2月27日	高山を利用するニホンジカの行動
3月13日	世界の中の岩手ー金田ー国土の時代
3月27日	金田一勝定と国土が現在に残したもの

11 県博バックヤードツアー

【期日】 5月16日

12 博物館で学ぶ岩手の歴史講座

【期日】 ①10月16日 ②10月23日 ③10月30日
④11月6日 ⑤11月13日 ⑥11月20日

【内容】 歴史初学者や学生を対象とした、歴史学と郷土史に関する基礎講座

13 ミュージアムコンサート

【期日】 1月15日

【内容】 マンドリンとギターの調べ（岩手県立盛岡第二高等学校マンドリン・ギター部）

14 考古学セミナー

【期日】 ①10月16日 ②10月23日

【内容】 ①講演会「遺跡から見た盛岡の弥生～古墳時代」
②現地観察会「中津川流域の弥生～古墳時代遺跡を歩く」

15 自然観察会

【期日】 ①5月30日 ②11月21日

【場所】 ①宮古市金浜 ②盛岡市高松公園

16 地質観察会

【期日】 ①6月26日 ②10月31日

【内容】 ①1億年前のサンゴ礁の海を見てみよう！
②三疊紀の魚竜・モノティス産地：日本最初の三疊紀化石発見の地を探る

- 17 博物館館園実習
【期日】 8月19日～26日
- 18 文化財取扱等講習会
【期日】 令和4年1月27日～28日
- 19 教員のための博物館の日
【期日】 8月6日～7日
【内容】 展示解説、収蔵庫見学等
- 20 第12回博物館まつり代替事業
【期日】 10月9日～10日、11月3日、11月21日
【内容】 秋のまなびイベント
(生きもの探偵、スライム時計づくり、たんけん！岩石園、たんけん！むかしのくらし)
- 21 たいけん教室～みんなでためそう～
【期日】 毎週日曜日開催 ※9月はお休み※8月15日、22日、29日は中止
【内容】 主に解説員による小学生対象のワークショップ
- 22 冬休みワクワク！ワークショップ
【期日】 令和4年1月8日
【内容】 幼児～小学生向けのワークショップ
- 23 民家de写真展
【期日】 4月1日～5月9日
【内容】 考古部門（山と環状列石）に関する写真展を民家で開催
- 24 ミュージアムシアター
【期日】 毎月第1土曜日
【内容】 博物館講堂で名作映画を楽しむ
- 25 県博出前講座
【内容】 学芸員が学校へ出向き館の資料を用いた授業等を実施

期日	依頼者	演題・イベント名ほか
5月28日	岩手県立大学	滝沢森林公園の鳥類
6月16日	岩手県立平舘高等学校	博学連携事業概要説明、操り人形の歴史
6月25日	八幡平市立柏台小学校	学校の周りの植物
8月27日	岩手県立伊保内高等学校	岩手の食文化
9月21日	盛岡市立仙北小学校	岩手のカワシンジュガイと生物多様性
9月29日	盛岡市立仙北小学校	岩手の絶滅危惧植物
10月15日	盛岡市立仙北小学校	田んぼの鳥を守ること
10月26日	盛岡市立下橋中学校	岩手の化石
12月10日	岩手県立盛岡となん支援学校	岩手の化石・生命の進化
12月15日	岩手県立平舘高等学校	博学連携事業～人形の頭製作指導
12月26日	北上市立黒沢尻東小学校 20区1班なかよし子供会	いわてのかせき・化石のレプリカ作り
1月17日	岩手県立岩谷堂高等学校	津波で被災した資料の再生
2月3日	八幡平市立柏台小学校	むかしのくらし
2月16日	盛岡市立上田小学校	むかしのくらし
2月18日	滝沢市立滝沢小学校	むかしのくらし

26 夏休みスタディシート

【期日】 7月20日～8月13日の開館日

【内容】 ワクワク！こどもツアー（夏季）の代替事業

27 第1回写真コンテスト

【期間】 写真募集期間 令和2年6月16日～令和3年2月26日 応募総数292点、応募者121人

展示期間 I期 令和3年4月20日～5月30日

II期 令和3年6月19日～8月15日

【内容】 岩手山をテーマに写真を募集、展示

28 講演会・講座に係る職員派遣

期日	依頼者	演題・イベント名ほか
6月24日	盛岡の歴史を語る会	岩手のウォール街「中ノ橋通」とお金の話
7月6日	松園地区公民館	松園地区公民館成人教育「松園を学ぶ①」
7月13日	松園地区公民館	松園地区公民館成人教育「松園を学ぶ②」
7月24日	大船渡市商工会議所	三陸の成り立ちから見るジオパークの魅力
8月1日	宮古市民総合体育館	三陸の成り立ちから見るジオパークの魅力
8月4日	岩手県高等学校教育研究会理科部会岩手県高等学校文化連盟自然科学専門部	令和3年度岩手県高等学校文化連盟自然科学専門部高校生セミナーサポート事業「研究論文作成支援セミナー」
8月7日	盛岡市西部公民館	「近世・近代史講座」戊辰戦争から岩手県の誕生
8月8日	たきざわ環境パートナー会議	キッズ観察会
9月30日	盛岡市中央公民館	野鳥の絶滅・野鳥の復活～人間と歩んだ歴史～
11月12日	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部	応用理学研究会野外見学会
11月13日	岩手県高等学校教育研究会	岩手県高等学校教育研究会理科部会地学部会研修会
11月19日	盛岡ゆうゆう大学・トラベルリンク株式会社	令和3年度盛岡ゆうゆう大学ラジオ講座 水辺の鳥・街なかの鳥～生物多様性を守るために～
12月3日	岩手県立埋蔵文化財センター・（公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	令和3年度埋蔵文化財発掘調査技術講習会「編年に技術と県内土偶の編年」
2月16日	三陸ジオパーク推進協議会	三陸ジオパークの縄文遺跡を深く知るオンラインセミナー
2月25日	日本野鳥の会	鳥ゼミ「絶滅危惧種オオセッカはどこで越冬するか」
3月8日	歴史資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業東北大学拠点	歴史文化資料保全コーディネーター講座「様々な資料の保全5 生物系資料」

29 開館記念日イベント

【期間】 10月1日～10月10日

【内容】 岩手県立博物館の開館日10月5日の前後5日間で誕生日の方に記念品を贈呈し、博物館をより身近に感じてもらう

30 文化の日イベント

【期間】11月3日文化の日

【内容】館長とのじゃんけん大会を実施

31 ワクワク！こどもツアー

【期間】12月19日～1月10日の開館日

【内容】子ども向け定時解説

2 県立美術館

(1) 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	令和3年12月21日	県立美術館 会議室	① 令和2年度における意見・要望対応 ② 令和3年度美術館事業実施状況 ③ 令和4年度事業計画案・企画展概要案 ④ 美術館運営

(2) 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催 日数	観覧者数				開催 日数	
	小中 高生	大学 生等	一 般	小 計		小中 学生	高・大 生等	一 般	小 計		
4月	172	19	382	573	23	138	219	2,040	2,397	6	2,970
5月	4	3	65	72	27	1,499	1,288	15,572	18,359	27	18,431
6月	384	9	197	590	26	1,044	821	10,964	12,829	16	13,419
7月	113	14	178	305	24	255	440	13,489	14,184	27	14,489
8月	100	50	427	577	13	45	67	1,142	1,254	3	1,831
9月	54	9	52	115	11	59	223	2,043	2,325	11	2,440
10月	476	15	383	874	23	121	238	2,427	2,786	17	3,660
11月	226	33	728	987	25	365	267	3,758	4,390	24	5,377
12月	103	34	290	427	20	20	92	454	566	9	993
1月	7	15	73	95	20	40	149	1,149	1,338	24	1,433
2月	15	35	186	236	24	33	161	1,211	1,405	18	1,641
3月	57	38	240	335	24	53	179	2,275	2,507	15	2,842
計	1,711	274	3,201	5,186	260	3,672	4,144	56,524	64,340	197	69,526

(3) 展示事業

ア 常設展の開催

[単位：人]

区 分	会 期	観覧者数
第4期展示	令和3年4月1日～令和3年4月25日	(4月1日以降)
第1期展示	令和3年4月30日～令和3年7月18日	858
第2期展示	令和3年7月23日～令和3年10月17日	1,420
第3期展示	令和3年10月23日～令和4年1月23日	1,728
第4期展示	令和4年1月29日～令和4年3月31日	564(3月31日まで)

イ 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会 期	観覧者数
深堀隆介展「金魚鉢、地球鉢」	令和3年4月24日～6月13日	32,440
足立美術館展 横山大観と近代日本画の名手たち	令和3年6月26日～8月1日	16,207

華麗なるベル・エポック フランス・モダン・ポスター展 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館コレクション	令和3年8月14日～10月3日 ※8月16日～9月17日休館	3,767
本城直季 (un) real utopia	令和3年10月16日～11月28日	5,913
開館20周年記念 菅 木志雄 <もの>の存在と<場>の永遠	令和3年12月18日～2月20日	3,304
アートフェスタいわて2021	令和4年3月5日～3月21日	2,504

(4) 教育普及事業

ア 展示関連事業

(ア) 企画展教育プログラム

- ・ ギャラリートーク……学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】586人

- ・ 企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参加者数
深堀隆介展アーティストトーク	深堀 隆介氏	令和3年4月24日	91
深堀隆介展ワークショップ	深堀 隆介氏	令和3年5月4日	【中止】
足立美術館展開催記念講演会1「足立美術館の魅力ー日本庭園と日本画コレクションー」	安部 則男氏	令和3年6月26日	100
足立美術館展開催記念講演会2「横山大観と近代日本画の材料」	荒井 経氏 ※リモート出演	令和3年7月10日	69
ポスター展開催記念講演会「ベル・エポックのデザイン アール・ヌーヴォーからアール・デコへ」	平芳 幸浩氏 ※リモート出演	令和3年8月22日	【中止】
ポスター展スペシャル・ギャラリートーク	山本 彩氏	令和3年9月4日	【中止】
ポスター展コンサート「ベル・エポックの音楽」	木管五重奏カラフル	令和3年9月23日	【中止】
本城直季展講演会「高校生写真部を対象とした写真撮影実演、講話」	本城 直季氏	令和3年10月15日	23
本城直季展アーティストトーク	本城 直季氏	令和3年10月16日	50
本城直季展開催記念講演会「街を俯瞰して」	本城 直季氏	令和3年11月13日	78
本城直季展ワークショップ	本城 直季氏	令和3年11月14日	33
菅木志雄展アーティスト対談1	菅 木志雄氏 建島 哲氏	令和4年1月15日	96
菅木志雄展アーティスト対談2	菅 木志雄氏 村井 睦平氏	令和4年2月5日	【中止】

(イ) 常設展教育プログラム

- ・ コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説

【期日】毎月第2・第4土曜日に年間24回開催（うち8回中止） 【参加者数】183人

- ・ 常設展関連講座 3回実施 【参加者数】131人
- ・ 子ども向け鑑賞ツールの運用

イ 美術普及事業

(ア) スタジオプログラム

- ・ オープンスタジオ
 【期日】 令和3年7月22日～23日 【参加者数】 133人
 【期日】 令和3年12月25日～26日 【参加者数】 95人
- ・ アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ
 【期日】 毎月実施（うち2回中止） 【対象】 3～6歳児と保護者 各5組
 【参加者数】 114人

(イ) 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座	令和3年5月29日、8月28日（中止）、 11月27日、令和4年2月12日	75
学芸員講座	令和3年9月26日、令和4年2月13日	22

(ウ) アウトリーチ事業

【期日】 令和3年6月3日（二戸市立浄法寺小学校）	【参加者数】 23人
6月9日（県立生涯学習推進センター）	【参加者数】 80人
6月24日（二戸市立御返地小学校）	【参加者数】 15人
7月11日（県立野外活動センター）	【参加者数】 16人
7月16日（一戸町立一戸南小学校）	【参加者数】 16人
7月25日（県立県北青少年の家）	（中止）
9月15日（二戸市立石切所小学校）	【参加者数】 63人
10月27日（二戸市立金田一小学校）	【参加者数】 27人
11月12日（二戸市立石切所小学校）	【参加者数】 36人
令和4年1月20日（奥州市教育委員会）	【参加者数】 28人

(エ) アーティストトーク

実施なし

(オ) 映像プログラム

アートシネマ上映会…美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映

期 日	内 容	鑑賞者数
令和3年4月25日 6月27日	バンクシー・ダズ・ニューヨーク	155
5月16日	道 / 甘い生活	76
6月13日	フェリーニに恋して	45
7月18日	若冲と江戸絵画 絵の中の四季・いのちの彩	78
8月15日	ディリリとパリの時間旅行	【中止】
9月19日	赤い風車	【中止】
10月24日	嵐を呼ぶ男	19
11月3日	ディリリとパリの時間旅行	68
11月28日	キートン将軍（大列車追跡） 【無声映画／弁士・伴奏付き】	82
12月19日	存在と殺人	41
令和4年1月16日	集散－困束	16
2月20日	北斎ミステリー ～幕末美術秘話 もう一人の北斎を追え～	35
3月21日	世界の名画 ゴッホ・青く揺らめく炎	62

ウ 来館者対応事業

- | | | |
|--------------------|--------------------|------------|
| (ア) 美術館探検「てくてくツアー」 | 【期日】 年6回 (うち2回中止) | 【参加者数】 19人 |
| (イ) 団体対応 | 【期日】 随時 | 【利用者数】 45人 |
| (ウ) 美術相談 | 【期日】 随時 | |
| (エ) ライブラリー企画 | 【期日】 年6回 | |
| (オ) ファミリータイム | 【期日】 毎月第2木曜日・第4土曜日 | |
- 【参加者数】 60人

(5) 広報事業

- ア 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- イ 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- ウ 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- エ 美術館スケジュール……年4回

(6) 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

3 県立青少年の家

(1) 県南青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 利用者層の拡大と親しみやすい施設運営に取り組んだ。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

(2) 陸中海岸青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実に努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、連携を図ることができた。

イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者（団体）のねらいが達成されるよう支援に取り組んだ。
- (イ) 施設利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応をするよう取り組んだ。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に取り組んだ。
- (ウ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

(3) 県北青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域、施設の特徴を生かし、研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に取り組んだ。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に取り組んだ。
- (イ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用促進に取り組んだ。
- (イ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるように取り組んだ。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月2回程度の地元FMラジオ番組への電話出演等、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 環境に優しい施設及び環境美化に取り組んだ。

4 県立野外活動センター

(1) 開所に係る実施事業

期 日	内 容
令和3年4月1日	遊具広場の供用開始
5月1日	屋外運動施設（運動広場及びテニスコート）の供用開始
7月1日	全施設供用開始
7月11日	開所式

(2) 主催事業

海洋性野外活動のほか、各種スポーツ事業やファミリー対象事業、復興防災事業、ボランティア養成事業等を実施した。

(3) 研修活動

地域の特性を踏まえた、野外活動、スポーツ活動、創作活動等の研修プログラムを作成し、提供した。

(4) 利用の促進

利用者アンケートを分析して改善方法を検討し、利用促進に取り組んだ。

(5) 環境の整備

- ア 利用者の安全確保に向けたマニュアルを作成し、施設管理の手順や方法等を職員間で共有した。
- イ 施設敷地の環境整備に取り組んだ

【県立県南青少年の家 令和3年度主催事業及び自主事業】

- (1) 集団宿泊指導研修会 ①②
【期日 | 参加者数】 ① 5月7日 31人 ② 5月11日 30人
- (2) アドバイザー・スタッフ養成講座
【期日 | 参加者数】 5月29日～30日 7人
- (3) 自然ワンダークラブ ①～④
【期日 | 参加者数】 ① 5月29日～30日 29人
② 8月21日～22日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
③ 10月2日～3日 28人
④ 1月15日～16日 24人
- (4) かるがも親子体験教室 ①②
【期日 | 参加者数】 ① 7月3日 34人 ② 7月24日～25日 45人
- (5) 水と緑のフレンドシップ
【期日 | 参加者数】 8月1日～5日 20人
- (6) 宿泊通学合宿
【期日 | 参加者数】 11月7日～10日 26人
- (7) 冬のおもしろ体験ランド
【期日 | 参加者数】 1月29日～30日 10人
- (8) 県南は～とふる♡Day
【期日 | 参加者数】 12月3日 6人
- (9) [自主事業]大人のワンダークラブ①～③
【期日 | 参加者数】 ① 5月15日 12人 ② 10月7日 14人 ③ 2月11日 5人
- (10) [自主事業]ファミリートレッキング
【期日 | 参加者数】 6月12日 28人
- (11) [自主事業]ふれあいフェスティバル
【期日 | 参加者数】 8月29日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (12) [自主事業]サッカーフェスティバル ①②
【期日 | 参加者数】 ① 9月18日～19日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
② 9月25日～26日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (13) [自主事業]親子deチャレンジ! ①～④
【期日 | 参加者数】 ① 10月30日～31日 19人 ② 11月27日 56人 ③ 11月28日 58人
④ 12月4日 47人
- (14) [自主事業]かるがも親子のクリスマス
【期日 | 参加者数】 12月11日～12日 51人
- (15) [自主事業]レッツスケート ①②
【期日 | 参加者数】 ① 1月15日 44人 ② 1月29日 33人

【県立陸中海岸青少年の家 令和3年度主催事業及び自主事業】

- (1) 自然体験活動セミナー①②
【期日|参加者数】 ①4月22日 24人 ②5月13日 22人
- (2) 海釣り道場
【期日|参加者数】 5月1日～2日 59人
- (3) 沢の果てまでイッテQ
【期日|参加者数】 7月22日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (4) 家族ふれあいデイキャンプinマリンランド陸中
【期日|参加者数】 8月28日～29日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (5) マリンランド陸中杯グランド・ゴルフ交流会 ①～③
【期日|参加者数】 ①5月20日 66人
②9月2日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
③10月14日 67人
- (6) アドバイザースタッフセミナー①②
【期日|参加者数】 ①7月10日 9人 ②7月17日 7人
- (7) マリンランド陸中自然体験塾 ①②
【期日|参加者数】 ①海の子野外教室 7月29日～31日 27人
②雪ん子野外教室 1月6日～8日 13人
- (8) 季節の味わい～和菓子作り～
【期日|参加者数】 1月29日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (9) ハートフルキャラバン
【期日|参加者数】 通年 297人
- (10) やまびこキャラバン
【期日|参加者数】 通年 2,771人
- (11) [自主事業]グラウンドゴルフ交流会マリンランドオープン2021
【期日|参加者数】 4月15日 58人
- (12) [自主事業]ワンダフルネイチャー ①～③
【期日|参加者数】 ①4月24日 27人 ②10月9日 39人 ③11月6日 27人
- (13) [自主事業]マリンランド陸中フェスタ「感謝まつり」
【期日|参加者数】 9月26日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (14) [自主事業]親子deチャレンジ!
【期日|参加者数】 10月30日～31日 4人
- (15) [自主事業]親子でエンジョイ海1day夜釣り
【期日|参加者数】 11月20日 45人
- (16) [自主事業]創作ひろば ①②
【期日|参加者数】 ①12月5日 36人 ②12月12日 101人
- (17) [自主事業]第42回陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓会
【期日|参加者数】 2月5日～6日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (18) [自主事業]第18回マリンランド陸中フットサル交流会
【期日|参加者数】 2月19日～20日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (19) [自主事業]第13回マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会
【期日|参加者数】 2月26日～27日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

【県立県北青少年の家 令和3年度主催事業及び自主事業】

- (1) 野外活動セミナー
【期日|参加者数】 5月7日 33人
- (2) ジュニアフォレスターズ大作戦 ①②
【期日|参加者数】 ①8月28日～29日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
②1月22日～23日 8人
- (3) 親子でアウトドアチャレンジ
【期日|参加者数】 5月29日～30日 40人
- (4) わんぱく広場①②
【期日|参加者数】 ①6月26日 40人 ②6月27日 42人
- (5) サマーにこにこキャンプ ①②
【期日|参加者数】 ①7月10日～11日 30人
②7月17日～18日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (6) サマーチャレンジキャンプ
【期日|参加者数】 8月3日～6日 28人
- (7) 親子でアウトドアクッキング
【期日|参加者数】 9月18日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (8) スケート場感謝デー
【期日|参加者数】 11月3日 553人
- (9) だれでもスケート教室①～③
【期日|参加者数】 ①11月7日 59人 ②11月14日 58人 ③11月21日 39人
- (10) スケートキッズ感謝デー
【期日|参加者数】 12月12日 199人
- (11) ウィンタースクール
【期日|参加者数】 2月5日～6日 18人
- (12) ステラパル冬遊塾
【期日|参加者数】 2月19日～20日 20人
- (13) [自主事業]いきいきグラウンド・ゴルフ大会①②
【期日|参加者数】 ①5月13日 94人
②9月14日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (14) [自主事業]レッツトレッキング①②
【期日|参加者数】 ①6月8日 20人 ②9月28日 10人
- (15) [自主事業]ステラパル夏まつり
【期日|参加者数】 7月25日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (16) [自主事業]プラネタリウム鑑賞デー ①～③
【期日|参加者数】 ①7月25日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
②9月18日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
③2月11日 48人
- (17) [自主事業]親子 de チャレンジ
【期日|参加者数】 10月30日～31日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (18) [自主事業]ステラパル冬まつり
【期日|参加者数】 2月11日 50人

【県立野外活動センター 令和3年度実施事業】

- (1) 復興関連施設見学ツアー①②
【期日|参加者数】 ①5月11日 8人 ②11月9日 10人
- (2) 施設内覧会①②
【期日|参加者数】 ①5月14日 26人 ②1月21～22日 25人
- (3) 合同事前研修会①～③
【期日|参加者数】 ①6月8日 7人 ②6月18日 9人 ③7月27日 9人
- (4) 野活キッズクラブ①～④
【期日|参加者数】 ①7月17日～18日 9人
②9月25日～26日 15人
③11月20日～21日 16人
④2月5日～6日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- (5) ボランティアスタッフ養成研修
【期日|参加者数】 7月17日～18日 17人
- (6) ドラマチック海遊塾
【期日|参加者数】 7月29日～8月1日 23人
- (7) ファミリーキャンプ in 広田
【期日|参加者数】 10月2日～3日 19人
- (8) 親子海釣り教室
【期日|参加者数】 10月16日～17日 20人
- (9) 三陸探検隊（親子防災教室）
【期日|参加者数】 11月13日～14日 23人
- (10) スポーツ教室 in ハマラインパーク
【期日|参加者数】 10月31日 249人
- (11) スポーツきッズ①～④
【期日|参加者数】 ①1月15日 13人 ②1月29日 18人
③2月12日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
④2月26日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）
 （※各項目の利用実績は、平成元年度実績）

1 図書館（平成3年4月1日現在）※令和3年度図書館・公民館図書室等実態調査より

	合 計	図書館	公民館等
施設数	53	46	7
職員数	520	483	37
（うち専任）	96	96	0
蔵書総冊数	5,244,500	5,001,083	243,417
年間受入冊数	168,511	156,819	11,692
貸出冊数	4,787,767	4,566,648	221,119

2 公民館（令和3年10月1日現在）※令和3年度社会教育基本調査より

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	215	138	19	119	77
職員数	563	498	113	385	65
（うち本務）	115	111	40	71	4
（〃 兼務）	114	96	26	70	18
（〃 非常勤）	334	291	47	244	43
利用団体数	27,251	23,756	8,348	15,408	3,495
利用者数	850,594	805,694	172,402	633,292	44,900
（うち団体）	795,357	751,608	164,284	587,324	43,749
（〃 個人）	55,237	54,086	8,118	45,968	1,151

3 博物館等（令和3年10月1日現在）※令和3年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	108	64	44
職員数	601	367	210
（うち本務）	242	136	106
（〃 兼務）	85	60	25
（〃 非常勤）	274	171	103
※学芸員数（内数）	(108)	(85)	(23)
来館者数	847,454	305,341	542,113

4 青少年教育施設（令和3年10月1日現在）※令和3年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	7	4	3
職員数	26	13	13
（うち本務）	8	8	0
（〃 兼務）	5	1	4
（〃 非常勤）	13	4	9
利用団体数	308	233	75
利用者数	29,438	16,790	12,648
（うち団体）	19,730	9,326	10,404
（〃 個人）	9,708	7,464	2,244

5 文化施設（令和3年10月1日現在）※令和3年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	31	8	23
職員数	229	45	184
(うち本務)	137	28	109
(〃 兼務)	25	12	13
(〃 非常勤)	67	5	62
利用団体数	10,602	3,621	6,981
利用者数	728,733	122,413	606,320
(うち団体)	607,205	120,393	486,812
(〃 個人)	121,528	2,020	119,508

6 その他の社会教育施設（令和3年10月1日現在）※令和3年度社会教育基本調査より

	合 計	教育委員会所管	他所所管
施設数	218	61	157
職員数	606	66	540
(うち本務)	242	25	217
(〃 兼務)	44	15	29
(〃 非常勤)	320	26	294
利用団体数	69,272	8,724	60,548
利用者数	1,340,291	151,402	1,188,889
(うち団体)	1,284,018	141,550	1,142,468
(〃 個人)	56,273	9,852	46,421

第4節 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

第1 部活動や地域と連携した取組などを通じた郷土芸能の保存と継承

郷土芸能の保存・継承を促進するため、児童生徒の部活動や地域と連携した取組などを通じた活動を推進した。

児童生徒の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 第44回岩手県高等学校総合文化祭 [単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
郷土芸能	令和3年10月16日	北上市文化交流センター	16校 360人	0（無観客）

2 第45回全国高等学校総合文化祭 [単位：人]

部 門	期 日	会 場	派遣学校名（派遣生徒数）
郷土芸能	7月31日～8月5日	和歌山ビッグホエール	花巻農業高等学校(23) 北上翔南高等学校(51)

3 令和3年度セミナーサポート事業

新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止

4 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】第21回全国中学校総合文化祭岩手県大会 兼 第20回岩手県中学校総合文化祭

【開催日】令和3年8月19日（木）～20日（金）（当初5日間を2日間に縮小）

【会 場】岩手県民会館

【内 容】舞台発表部門 出演学校数：県内17校（17団体736名）県外17校（18団体251名）
展示発表部門 出展作品総数：1,248点

第2 世界遺産登録の推進に向けた柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことの一つとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか4資産が「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」として平成23年に登録された。

現在、柳之御所遺跡ほかの関連資産を追加登録するための調査を平成25年から継続実施している。

柳之御所遺跡については、奥州藤原氏の政庁として仏国土（浄土）建設の拠点となった場所であり、その顕著な普遍的価値を来訪者にわかりやすく伝えることができるよう、史跡公園としての整備活用を推進してきた。令和3年度開館の平泉世界遺産ガイダンスセンターと史跡公園との一体的な整備とするよう南端部の整備工事を実施した。

1 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。併せて調査整備指導委員会をリモート協議と書面協議との併用により開催した。

【総事業費】 126,347千円

2 平泉文化研究機関整備推進事業

令和2年度には平泉世界遺産ガイダンスセンターの令和3年度設置を見据えた研究計画の更新を行っており、岩手大学や国機関の研究者等と共同研究を行った。また、平泉学フォーラムなどの開催により、共同研究の成果を広く発信した。

【総事業費】 4,245千円

第3 文化財の保存と継承

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取り組みを支援した。

また、令和3年3月には「岩手県文化財保存活用大綱」を策定し、地域における文化財の保存・活用アクションプランである「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた市町村の取り組みを支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回	令和3年9月	書面開催	事務報告（8件）
第2回	令和4年2月4日	盛岡地区合同庁舎 大会議室	岩手県指定文化財の指定等について(3件)

(2) 文化財の指定等及び保持団体の認定

令和4年4月8日 岩手県教育委員会告示第1号

指定番号	名 称	員数	所有者
有民第33号	盛岡藩操座元鈴江四郎兵衛関係資料	1件39点	岩手県

令和4年4月8日 岩手県教育委員会告示第2号

指定番号	名 称	保持団体
無民第50号	南日詰大神楽	南日詰大神楽保存会

令和3年4月9日 岩手県教育委員会告示第4号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
史第48号	史跡	久慈城跡	1件	[省略]

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事 業 名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか8件	146,513	32,377
県指定文化財・修理・防災事業	陸前高田市ほか7件	49,465	25,160

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事 業 名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
特別天然記念物カモシカ食害対策事業	住田町ほか1町	2,900	1,449

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種 別	名 称	実施期日
有形文化財	長谷寺絵馬群（大船渡市）	令和3年7月2日
有形民俗文化財	南部藩操座元鈴江四郎兵衛関係資料（盛岡市）	令和3年12月17日
無形民俗文化財	牛の角突き（久慈市）	令和3年7月7・14日
	南日詰大神楽（紫波町）	令和3年12月19日

イ 文化財パトロール事業

【総事業費】 1,424千円

ウ カモシカ特別調査事業

【総事業費】 2,714千円

エ カモシカ通常調査事業

【総事業費】 890千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【令和3年度登録件数】 98件 【総登録件数】 34,255件

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名（遺跡名）	調査地区	調査面積
一般国道4号水沢東バイパス事業（館遺跡）	奥州市	1,000㎡
三陸沿岸道路（力持遺跡）	普代村	178㎡
三陸沿岸道路（サンニヤⅢ遺跡）	洋野町	1,882㎡
公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業（柁沢Ⅱ遺跡）	八幡平市	900㎡
主要地方道紫波江繋線星山地区道路改良工事（間野村、境遺跡）	紫波町	620㎡
経営体育成基盤整備事業真城南地区（中林下遺跡）	奥州市	8,220㎡
経営体育成基盤整備事業若柳中部地区（明神下遺跡）	奥州市	7,930㎡
農業競争力強化基盤整備事業泉沢・中平地区（平清水Ⅰ、Ⅱ遺跡）	野田村	2,949㎡
スマートインター建設事業（大谷地Ⅲ遺跡）	花巻市	6,087㎡
野田村立野田小学校建設事業（中平遺跡）	野田村	4,630㎡
合 計		34,396㎡

イ 試掘調査

事業名	調査地区
一般国道4号（水沢東バイパス）	奥州市
一般国道4号（金ヶ崎拡幅）	金ヶ崎町
三陸沿岸道路（洋野階上道路）	洋野町
北上川上流中流部治水対策	紫波町
一般国道282号一本木BP道路改良	滝沢市
一般県道整備事業	金ヶ崎町、岩泉町
農地整備事業（経営体育成ほか）	花巻市、奥州市、一関市、金ヶ崎町、紫波町
農村地域防災減災事業（岩崎溜池）	北上市
中山間地域総合整備事業	奥州市
畑地帯総合整備事業	二戸市
農業農村整備事業調査	遠野市、花巻市
農地中間管理機構関連農地整備事業	金ヶ崎町
森林環境保全整備事業（国有林）	西和賀町
急傾斜地崩落対策事業等	宮古市、一戸町
災害復旧事業	西和賀町、岩泉町、
施設管理所増築工事等	北上市
盛岡地方裁判所二戸支部庁舎新築工事	二戸市
市町村支援	北上市、花巻市、岩泉町

など合計72件（R2実績：30件）

ウ 分布調査

事業名	調査地区
間伐・皆伐事業（林野庁）	盛岡市、遠野市、釜石市、奥州市ほか
圃場整備関係	奥州市、一関市、紫波町、一戸町ほか
急傾斜地、砂防事業等	宮古市、八幡平市、岩泉町、九戸村ほか
災害復旧関係	宮古市、岩泉町、西和賀町ほか
河川改修事業関係	宮古市
県道改良事業関係	金ヶ崎町
林道事業関係	遠野市

など合計138件（R2実績：82件）

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

- ・発掘調査等 11市4町2村（計17自治体）で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実【埋蔵文化財センター受託事業】

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

ア 発掘調査【計11遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省 岩手河川国道事務所 三陸国道事務所	奥州市 普代村 洋野町	館遺跡 力持遺跡 サンニヤⅢ遺跡
岩手県	八幡平市	椴沢Ⅱ遺跡
	紫波町	間野村遺跡、境遺跡
	奥州市	中林下遺跡、明神下遺跡
	野田村	平清水Ⅰ、Ⅱ遺跡
花巻市	花巻市	大谷地Ⅲ遺跡
野田村	野田村	中平遺跡

イ 報告書の発刊【計4遺跡】 2冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	奥州市	館遺跡
岩手県	八幡平市	椴沢Ⅱ遺跡
北上市	北上市	二子城跡
花巻市	花巻市	大谷地Ⅲ遺跡

ウ 調査報告書（令和3年度概要）

令和3年度発掘調査略報 300部

エ 普及事業

(ア) 第42回埋蔵文化財展

【期間】令和4年1月28日（金）～30日（日）

【場所】岩手県民情報交流センター ギャラリーアイーナ展示室

【内容】令和3年度の調査成果の速報展示を主体に、宮古市内で平成24年度以降に当センター、県教育委員会が実施した発掘調査で出土した遺物や写真パネル等を展示し、埋蔵文化財の魅力に触れる機会を創出した。

【参加者】173人

(イ) 令和3年度埋蔵文化財公開講座

【期日】令和4年1月29日（土）

【場所】アイーナ 小田島組☆ほ～る

【内容】講演「38年戦争とエミシの赤い土器」

北上市立博物館館長 杉本 良 氏

【参加者】97人

(ウ) **第42回埋蔵文化財発掘調査技術講習会**

【期日】令和3年12月3日(金)

【場所】岩手県立博物館

【内容】講演「編年の技術と県内土偶の編年」

県立博物館学芸第三課長 金子昭彦 氏

【参加者】38人

(エ) **所報「わらびて」の発行**

【内容】年2回発行(144号～145号)

県教育委員会及び(公財)埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の埋蔵文化財関係事業等についての情報掲載を行った。

3 文化財の積極的な活用

遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

- ・遺跡台帳の改訂(電算化)
- ・遺跡基本図の改訂(電算化)
- ・台帳、基本図の複製配布
- ・現地確認調査等の事前協議
- ・市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- ・文化財保護法関連諸文書類処理